

日本都市学会ニュース NO. 49

2019. 12. 5

発行 日本都市学会 〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学根田克彦研究室内

TEL : 0742-27-9176 郵便振替 00130-0-512255

<e-mail>info@toshigaku.org <ホームページ>http://www.toshigaku.org/

【日本都市学会第 66 回大会開催】

日本都市学会第 66 回大会は、2019 年 10 月 25 日（金）・26 日（土）・27 日（日）に、広島 JMS アステールプラザを会場として、「地方中枢都市の課題と展望」をテーマに、下記のスケジュールで開催されました。

【10月25日（金）】 12:30 から「広島駅周辺の再開発」をテーマとして、エクスカーションが行われました。広島駅北口を出発し、エキキタ地区～広島駅南口再開発地区～マツダスタジアム地下の大州雨水貯留池を見学しました。更に希望者はオフィスビルの建て替えが進行する広島市中心部～袋町小学校平和資料館を見学しました。参加者は 23 名でした。



「マツダスタジアム」とその地下の「大州雨水貯留池」の説明を聞くエクスカーション参加者

【10月26日（土）】 9:00 から広島 JMS アステールプラザの 5 会場で、30 の発表が行われました。

13:00 から広島 JMS アステールプラザで、浦野正樹日本都市学会会長と由井義通中四国都市学会会長の開会挨拶のあと、「地方中枢都市の課題と展望」をテーマとして、シンポジウムが開催されました。岡村清治広島市副市長の基調講演に続き、平篤志氏（香川大学）のコーディネートののもとで寺谷亮司氏（愛媛大学）、日野正輝氏（中国学園大学）、宮本茂氏（公益財団法人中国地域創造研究センター）、阿部和俊氏（愛知教育大学）によるパネルディスカッションが行われました。

15:30 からは同じ会場で日本都市学会賞授賞式が開催され、15:50 から日本都市学会総会、その後、会場を広島市文化交流会館ルミエールに移し、18:00 から懇親会が開催されました。

【10月27日（日）】 9:30 から、広島 JMS アステールプラザの 4 会場で、36 の発表が行われました。

第 66 回大会の参加者は、会員 104 人、一般 21 人で、懇親会参加者が 59 人でした。

主催の中四国都市学会、後援をいただいた広島市をはじめ、関係各位に厚くお礼申し上げます。

【日本都市学会 2019 年度総会報告】

2019 年度日本都市学会総会は、2019 年 10 月 26 日（土）15 時 50 分から広島 JMS アステールプラザで開催されました。由井義通中四国都市学会会長を議長に選出して、以下の 6 議案が審議されました。その結果、字句の修正のみでいずれも原案どおり議決されました。また 5 件の報告に関しては、いずれも了承されました。

- | | |
|------|---------------------|
| 議案 1 | 2018 年度事業報告 |
| 議案 2 | 2018 年度決算 |
| 議案 3 | 2019 年度事業計画 |
| 議案 4 | 2019 年度予算 |
| 議案 5 | 監事の承認 |
| 議案 6 | 理事の承認・紹介 |
| 報告 1 | 2019 年度日本都市学会賞等について |
| 報告 2 | 日本都市学会第 67 回大会について |
| 報告 3 | 運営課題を検討する調査委員会について |
| 報告 4 | 前会長の辞任について |
| 報告 5 | 日本都市学会会員数の状況 |

議案 1 2018 年度事業報告

(1) 日本都市学会第 65 回大会の開催

開催日時 2018 年 10 月 19～21 日

開催学会 九州都市学会

開催都市 福岡県福岡市

開催テーマ 「成長する都市」

(2) 日本都市学会年報の発行

VOL. 51 「都市の復興モデルを探る」(2018 年 5 月発行)

(3) 論文審査委員会

論文投稿要項の修正(年度、日付など)

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

(4) 日本都市学会賞の選定

2018 年 4 月 30 日 推薦等締め切り

2018年9月9日 選考委員会開催、同日第2回
理事会において決定

2018年10月20日 大会において授賞式

(5) 日本都市学会総会の開催

2018年10月20日

(6) 理事会および拡大理事会の開催

第1回理事会 (2018年6月17日)

2017年度事業報告・決算案、2018年度事業計画・
予算案、第65回・66回大会予定、各事務局からの
報告他

第2回理事会 (2018年9月9日)

2018年度学会賞・論文賞等の決定、第65回大会予
定、各事務局からの報告他

第3回理事会 (2018年10月19日)

総会提出議案の決定、第65回大会直前確認事項、
第66回大会予定、各事務局からの報告他

第4回理事会 (2018年3月31日)

開催要求された臨時総会について、2018年度事業
報告・決算見込み、2019年度事業計画・予算案等、
第65回大会報告、第66回大会予定、各事務局か
らの報告他

(7) 日本都市学会ニュースの発行とホームページの メンテナンス

日本都市学会ニュース No. 46 2018年10月8日

日本都市学会ニュース No. 47 2019年3月31日

(8) 次期会長、監事の選出

投票(2018年8月31日締切)開票(2018年9月
5日) 会長と監事を推薦

議案2 2018年度決算

(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

収入の部 (2018年度) (円)

科目	予算	決算
学会会費 (当該年度分)	1,900,000	1,930,600
学会会費 (過年度分)	0	0
年報売上高	630,000	708,000
雑収入	70,000	84,767
前年度繰越金	1,042,863	1,042,863
計	3,642,863	3,766,730

支出の部 (2018年度) (円)

科目	予算	決算
大会関係費	500,000	500,000
理事会・常任理事会関係費	700,000	687,130
論文審査委員会関係費	100,000	3,540
年報関係費	1,150,000	1,229,528
(VOL. 51)	(1,050,000)	1,186,847
(VOL. 52)	(100,000)	42,681
学会賞関係費	150,000	60,836
事務局経費	500,000	257,463
備品費	10,000	0
雑費	60,000	0
予備費	47,863	0
次年度繰越	0	1,028,233
計	3,642,863	3,766,730

正味資産の部

資産 (2019年3月31日現在残高)

郵便振替口座	¥ 545,226
三菱東京UFJ銀行奈良支店	¥ 475,556
手持ち現金	¥ 7,451
計	¥1,028,233

負債 なし

議案3 2019年度事業計画

(1) 日本都市学会第66回大会の開催

開催日時 2019年10月25日～27日

開催学会 中四国都市学会

開催都市 広島県広島市

開催テーマ 「地方中枢都市の課題と展望」

(2) 日本都市学会年報の発行

VOL. 52 「成長する都市」 (2019年5月発行)

(3) 論文審査委員会

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

(4) 日本都市学会賞の選定

2019年4月30日 推薦等締め切り

2019年9月8日 選考委員会開催、同日第2回理
事会において決定

2019年10月26日 大会において授賞式

(5) 日本都市学会総会の開催

2019年10月26日

(6) 理事会および常任理事会の開催

第1回理事会 (2019年6月23日)

2018年度事業報告・決算案、2019年度事業計画・
予算案、第66・67回大会予定、各事務局からの報
告他

第2回理事会 (2019年9月8日)

2019年度学会賞・論文賞等の決定、第66回大会予
定、各事務局からの報告他

第3回理事会 (2019年10月25日)

総会提出議案の決定、第66回大会直前確認事項、
第67回大会予定、各事務局からの報告他

第1回常任理事会 (2020年3月)

2019年度事業報告・決算見込み、2020年度事業計
画・予算案等、第66回大会報告、第67回大会予
定、各事務局からの報告他

(7) 日本都市学会ニュースの発行とホームページの メンテナンス

日本都市学会ニュース No. 48 2019年7月10日

日本都市学会ニュース No. 49 2019年12月

(8) 監事の選出 2019年10月26日総会にて承認

議案4 2019年度予算

(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

収入の部

科目	2018年度	2019年度
学会会費 (当該年度分)	1,900,000	1,900,000

学会会費（過年度分）	0	0
年報売上高	630,000	630,000
雑収入	70,000	70,000
前年度繰越金	1,042,863	1,028,233
計	3,642,863	3,628,233

支出の部

科目	2018年度	2019年度
大会関係費	500,000	500,000
理事会・常任理事会関係費	700,000	700,000
論文審査委員会関係費	100,000	100,000
年報関係費	1,150,000	1,150,000
(VOL. 52)	(1,050,000)	(1,050,000)
(VOL. 53)	(100,000)	(100,000)
学会賞関係費	150,000	150,000
事務局経費	500,000	500,000
備品費	10,000	10,000
雑費	60,000	60,000
予備費	472,863	458,233
計	3,642,863	3,628,233

議案5 監事の承認

新監事（2019年度後期・2020年度）は、次の2名を推薦いたします。

北村速雄（九州） 継続
吉本勇（中四国） 新任

議案6 理事の承認・紹介

(1) 支部会長理事

松村茂（東北）、大矢根淳（関東・新）、井澤知旦（中部）、山崎健（近畿）、由井義通（中四国）、外井哲志（九州）

(2) 支部選出理事

増田聡（東北）、熊田俊郎（関東）、西野淑美（関東）、磯部友彦（中部・新）、石田信博（近畿）、佐藤彰男（近畿）、川田力（中四国）、浅見良露（九州）

(3) 常任理事（紹介）

森傑（北海道、調整担当）、田渕義英（東北、論文審査事務局）、土居洋平（関東、調整担当）、大塚俊幸（中部、年報事務局）、井上馨（近畿、本部事務局代表・新）、佐野光彦（近畿、本部事務局会計担当）、酒井高正（近畿、本部事務局会員管理・広報）、山下博樹（中四国、大会事務局）、石川雄一（九州、学会賞事務局）

報告3 運営課題を検討する調査委員会について

- 2019年度第1回理事会（6月23日）において設置方針が了承された「日本都市学会の運営課題を検討する調査委員会」（以下本委員会）を、第2回理事会（9月8日）において日本都市学会会則第16条1項に基づく委員会として正式に発足させる。
- 本委員会の管掌する事項を次のようにする。
 - 日本都市学会の持つ制度的な脆弱性を洗い出し制度上の課題を明らかにしたうえで、制

度設計を検討すること

- 2) 学会として学会員の倫理規定をもうけること
3. 委員を次の通りとしました。なお、専門委員及び委員の追加変更については会長に一任し、その結果を理事会に報告するものとする。
松村茂（東北）、熊田俊郎（関東）、井澤知旦（中部）、山崎健（近畿）、由井義通（中四国）、外井哲志（九州）、檜楨貢（監事経験者）
4. 関東の熊田俊郎委員が委員長兼委員会事務局を担当する。浦野正樹会長はオブザーバーとして委員会に参加することができる。
5. 本委員会の審議結果は会長及び理事会に対し随時報告し、最終報告を行った時点で委員会解散時期を決める。

報告4 前会長の辞任について

未決定であった堂前亮平前会長の辞意の取り扱いについて、2019年度第2回理事会において、事務局に申し出のあった2019年3月6日付で辞任とすることを決定しました。本年度の当総会で報告いたします。

以下に、第2回理事会における決定に際しての説明を付記しておきます。

本件につきましては、残り任期も少ないことから満期満了を以って会長交代とし、病気療養に当たって代理を置いたとすべきであるとの意見が2019年3月の理事会で提起され、結論を得ないまま今日に至っております。この意見も一理ありますが、ご本人の意思が第一に尊重されるべきとも考えられます。会長の途中辞意表明についての規定がないため、調査委員会において「制度的不備」として検討するよう理事会から要請いたしましたが、調査委員会での検討を経て、今回の辞意表明の扱いについては、理事会で審議し表記の通りとすることを決定いたします。

報告5 日本都市学会会員数の状況

年度	2015	2016	2017	2018	2019
北海道	8	7	7	8	9
東北	81	78	82	66	65
関東	155	151	148	149	141
中部	80	87	91	92	90
近畿	151	157	160	153	149
中四国	43	48	42	43	43
九州	70	72	67	61	67
本部	1	1	1	1	1
合計	587	601	579	573	565

【2019年度第2回理事会報告】

2019年度第2回理事会は、2018年9月8日（日）14:00から早稲田大学戸山キャンパス33号館16階第10

会議室で開催され、浦野正樹会長、熊田俊郎、大矢根淳、磯部友彦、佐藤彰男、山崎健、外井哲志の各理事、大塚俊幸、井上馨、佐野光彦、酒井高正、山下博樹、石川雄一の各常任理事が出席しました。

議事の概要は以下のとおりです。

(1) 2018年度事業報告および2018年度決算報告案(本部)

1-1 2018年度事業報告案(6月と同)

1-2 2018年度決算報告案修正

第1回理事会にて、2018年度予算案の修正を詳しく説明。(2017年度の次年度繰越金と2018年度予算の前年度繰越金との間に齟齬が確認されたため)。その内容を日本都市学会ニュース No. 48 に詳しく掲載いたしました。

1-3 2018年度決算案

第1回理事会にて、上記の修正に伴い、2018年度決算案が修正されたものになりました、その内容を日本都市学会ニュース No. 48 に詳しく掲載いたしました。その修正された決算案が、2018年度日本都市学会収支決算監査の結果、適正に執行されていると認められました。

(2) 2019年度事業計画および2019年度予算案(本部)

2-1 2019年度事業計画

6月と同じ部分は省略し、中間報告を行いました。

- ・第1回理事会を6月23日に開催。同日に拡大理事会が開催されました。

「日本都市学会の運営課題を検討する調査委員会(仮称)」を立ち上げる。

- ・「日本都市学会第66回大会のお知らせ」と「日本都市学会ニュース No. 48」を同封し、7月10日に皆さまに送付いたしました。また、学会ホームページに掲載いたしました。

2-2 2019年度予算案(6月と同)

(3) 学会賞事務局

九州都市学会から、正午より開催された学会賞選考委員会、論文賞選考委員会の選考結果の報告があり、報告どおりに承認されました。

(4) 年報事務局

中部都市学会から、年報 VOL. 52 の発行準備状況、分量・構成の現状、概算収支見込、送付先に関する報告などがありました。

(5) 論文審査事務局

東北都市学会から、論文審査委員の増員の効果および論文審査進捗状況が説明されました。

(6) 第66回大会準備

中四国都市学会から、「日本都市学会第66回大会プログラム案」をもとに、大会スケジュールなどの報告がありました。

(7) 第67回大会予定

近畿都市学会から、第67回大会の概略が報告されました。

(8) 監事の選任について

新監事(2019年度後期・2020年度)として、「北村速雄(九州)継続」と「吉本勇(中四国)新任」の2名を選任し、総会で推薦することに決定しました。なお、吉本勇候補は中四国学会から初めての監事選任で、中四国都市学会との調整のためメール審議を行い決定しました。

(9) その他

9-1 運営課題を検討する調査委員会について
調査委員会準備委員長の熊田理事より提案され、理事会として承認されました。総会の「報告3」。

9-2 前会長の辞任について

調査委員会準備委員長の熊田理事より提案され、理事会として承認されました。総会の「報告4」。

【2019年度第3回理事会報告】

2019年度第3回理事会は、2019年10月25日(金)18:00から、広島市文化交流会館2階プロヴァンスで開催され、浦野正樹会長、増田聡、松村茂、熊田俊郎、大矢根淳、西野淑美、井澤知旦、磯部友彦、石田信博、佐藤彰男、山崎健、由井義通、川田力、外井哲志、浅見良露の各理事、森傑、土居洋平、磯部友彦、大塚俊幸、佐野光彦、酒井高正、山下博樹、石川雄一の各常任理事および檜楨貢監事、吉本勇監事候補が出席しました。

議事の概要は以下のとおりです。

(1) 総会議案について

総会議案が、字句を修正して承認されました。

(2) 第66回大会について

中四国都市学会から、エクスカージョン等の説明と、第66回大会の最終確認を行いました。

(3) 第67回大会について

近畿都市学会から、第67回大会の概要の報告がありました。

(4) 分担事務局報告

1) 年報事務局報告

中部都市学会から、年報 VOL. 52 について、発行及び収支の状況の説明がありました。また、年報 VOL. 53 の発行スケジュール等の説明がありました。

2) 論文審査事務局報告(東北) (9月と同)

3) 学会賞事務局報告、

九州都市学会から、総会時の配布資料の説明がありました。

4) 論文審査委員会提案

磯部委員長(中部)より、「論文審査方針について」提案されました。

その提案に対して議論となり、「日程優先で、丁寧に審査するシステム」の提案を委員会に願って、今後も議論する必要性を確認した。

5) 運営課題を検討する調査委員会報告

熊田委員長より、9月の発足からの経過の説明があり、「委員会の概要」と「今後の進め方」についての考え方を述べられました。

【2019 年度後期・2020 年度監事の選任】

昨年度の総会で否決され、会則 14 条 4 により、後任の監事が選任されるまで、前監事が継続しておりました。2019 年度総会で、2019 年度後期・2020 年度監事として、次の 2 名が承認されました。

監事	
村速雄（九州）	継続
吉本勇（中四国）	新任

参考 日本都市学会の監事役職者一覧

2002 年度	中村貢（関東）	近藤公夫（近畿）
2003 年度	中村貢（関東）	竹村保治（近畿）
2004 年度	中村貢（関東）	竹村保治（近畿）
2005 年度	中村貢（関東）	井澤知旦（中部）
2006 年度	中村貢（関東）	井澤知旦（中部）
2007 年度	中村貢（関東）	井澤知旦（中部）
2008 年度	中村貢（関東）	井澤知旦（中部）
2009 年度	佐藤直由（東北）	井澤知旦（中部）
2010 年度	佐藤直由（東北）	井澤知旦（中部）
2011 年度	佐藤直由（東北）	井澤知旦（中部）
2012 年度	佐藤直由（東北）	井澤知旦（中部）
2013 年度	佐藤直由（東北）	高山正樹（近畿）
2014 年度	佐藤直由（東北）	高山正樹（近畿）
2015 年度	檜楨貢（関東）	高山正樹（近畿）
2016 年度	檜楨貢（関東）	高山正樹（近畿）
2017 年度	檜楨貢（関東）	北村速雄（九州）
2018 年度	檜楨貢（関東）	北村速雄（九州）

【2019 年度日本都市学会賞等決まる】

2019 年度第 2 回理事会において、2019 年度日本都市学会賞(奥井記念賞)には堀川三郎氏(関東)、日本都市学会論文賞には、野村理恵氏(九州)と六車和浩氏(関東)に決まりました。

授賞式は、2019 年 10 月 26 日、日本都市学会第 66 回大会の場で行われ、浦野正樹会長から賞状等が手渡され、引き続いて各受賞者からスピーチがありました。

日本都市学会賞(奥井記念賞)

堀川三郎『町並み保存運動の論理と帰結—小樽運河問題の社会的分析—』東京大学出版会, 2018 年 2 月発行

選考理由

本書は小樽運河の存続問題について、著者独自の 33 年間にわたる詳細なフィールドワークにもとづき記された、都市社会学のモノグラフの大作である。開発という物理的な都市環境の変化がいかなる共同性関係の変化をもたらし、それが翻っていかに都市環境を改変していくのか。主要なプレーヤーに対するライフヒストリーを含む詳細なインタビューや各種会議議事録などの資料をもとに、時代とともに、

また人それぞれに保存の論理がどのように組み立てられ、どのように変遷してきているのかを詳細に明らかにしている。住民による、公共空間への関与の正統性獲得運動の都市社会学的解明である。

分析に際しては、景観定点観測法といった建築学・都市計画学の先行研究を社会的に組み換えて用い、それを上記の質的データと重ねて分析するなど、社会学的方法の革新・拡張が成し遂げられていて、事例からせり上げる都市論となっている。

長年の緻密なフィールドワークを通した一貫した研究成果の蓄積と資料の豊富さ、都市社会学をこえた日本都市学会がカバーするさまざまな学問領域への貢献が期待されることが高く評価された。

日本都市学会賞論文賞

野村理恵「積雪寒冷地における季節に応じた二拠点居住の展開と課題」『日本都市学会年報』VOL. 50, 2017 年 5 月発行

選考理由

積雪寒冷地における季節に応じた二拠点居住に着目し高齢者の地域居住を持続させる方策と可能性・課題を探った論文である。全国調査と北海道のモデル事業に関する調査にもとづいて、二拠点居住の実態と課題が良くまとめられており、新しいコミュニティ形成や行政サービスのあり方を考える糸口を提供している点が評価された。

六車和浩「都市再生整備計画の目標・評価指標及び達成状況の人口規模・人口動態に応じた傾向分析」『日本都市学会年報』VOL. 50, 2017 年 5 月発行

選考理由

これまで実施された都市再生整備計画における「まちづくりの目標」に対する、人口規模・動態、地区面積及び交付対象事業費の影響の大きさを知るため、計画の目標と評価指標の設定、評価目標の達成状況の傾向を分析した論文である。多くのデータを丁寧に分析し、人口動態によって評価項目、評価指標の設定及び達成度が異なることを指摘した点が評価された。

【日本都市学会第 67 回大会について】

第 67 回大会は尼崎市で下記のとおり開催する予定です。詳細が決まり次第ホームページに掲載してまいります。

日時予定：2020 年 10 月 30 日（金）～11 月 1 日（日）
開催地予定：尼崎市

会場：アルカイクホール(尼崎市総合文化センター)

大会テーマ：工業都市から総合産業・観光都市へ

【日本都市学会年報 VOL. 52 が発行されました】

日本都市学会年報 VOL. 52 が発行され、会員各位へ送付されました。本号は、特集「成長する都市」で、福岡大会の基調講演、シンポジウムなどの内容が収録され、査読付き論文 25 編、研究論文 7 編、学会の諸記録などが掲載され総ページ数 358 ページになっています。

学会員以外でもご希望の方には 1 冊 3,000 円でお頒けしております。注文は年報担当事務局まで。

【2020 年度学会賞を募集します】

2020 年度の学会賞（奥井記念賞）等の募集が始まります。3 月末に、学会賞担当事務局から各地域都市学会事務局あてに推薦依頼をお送りします。各地域都市学会では、現物 8 部および推薦理由を沿えて 4 月末日までに学会賞担当事務局まで送付して下さい（8 部の献本が困難な場合、4 部以上（2 部以上は献本、残りは借用）をお願いいたします）。

6 月頃から選考委員の選考作業が開始され、9 月開催予定の選考委員会で選考結果をとりまとめ、理事会において決定されます。

【2019 年度日本都市学会役員（10. 26 現在）】

会長 浦野正樹（関東）

理事 増田聡（東北）、松村茂（東北）、熊田俊郎（関東）、大矢根淳（関東）、西野淑美（関東）、井澤知且（中部）、磯部友彦（中部）、石田信博（近畿）、佐藤彰男（近畿）、山崎健（近畿）、由井義通（中四国）、川田力（中四国）、外井哲志（九州）、浅見良露（九州）

常任理事 森傑（北海道）、田渕義英（東北）、土居洋平（関東）、大塚俊幸（中部）、井上馨（近畿）、佐野光彦（近畿）、酒井高正（近畿）、山下博樹（中四国）、石川雄一（九州）

監事 北村速雄（九州）、吉本勇（中四国）

分担事務局（2019 年 4 月 1 日より）

■■本部事務局（近畿都市学会）

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 根田克彦研究室内 TEL：0742-27-9176

■年報担当事務局（中部都市学会）

〒487-8501 春日井市松本町 1200 番地 中部大学人文学部大塚研究室内 TEL：0568-51-9107/FAX：0568-52-0622

e-mail：chubutoshi@isc.chubu.ac.jp

■学会賞担当事務局（九州都市学会）

〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10 大阪商業大学経済学部 石川雄一研究室内 責任者：石川雄一

TEL：06-6785-6130/Fax06-6781-8438

E-mail：ishikawa@daishodai.ac.jp

■論文審査担当事務局（東北都市学会）

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾 30 福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科田渕義英研究室気付 TEL：0246-46-0850 責任者：田渕義英

e-mail：tabuchi@fukushima-nct.ac.jp

■大会担当事務局（中四国都市学会）

〒680-8551 鳥取市湖山町南 4 丁目 101 鳥取大学地域学部 山下研究室内 TEL・FAX：0857-31-5089

e-mail：yamasita@rs.tottori-u.ac.jp

地域都市学会事務局（2019 年 4 月 1 日より）

◎北海道都市地域学会 〒062-8520 札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3-1 札幌大学女子短期大学部経営学科小山研究室内 TEL：011-852-9342（直通）

e-mail：koyama-s@sapporo-u.ac.jp

◎東北都市学会 〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾 30 福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科田渕義英研究室気付 TEL：0246-46-0850

e-mail：tabuchi@fukushima-nct.ac.jp

◎関東都市学会 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1 専修大学経済学部河藤佳彦研究室内 TEL：044-911-1048

e-mail：info@kanto-toshigakkai.com

◎中部都市学会 〒487-8501 春日井市松本町 1200 番地 中部大学人文学部大塚研究室内 TEL：0568-51-9107/FAX：0568-52-0622

e-mail：chubutoshi@isc.chubu.ac.jp

◎近畿都市学会 〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第 2 ビル 6 階 大阪市立大学大学院創造都市研究科 小長谷研究室内

e-mail：info@kintoshi.org

◎中四国都市学会 〒680-8551 鳥取市湖山町南 4 丁目 101 鳥取大学地域学部 山下研究室内 TEL・FAX：0857-31-5089

e-mail：yamasita@rs.tottori-u.ac.jp

◎九州都市学会 〒839-8502 福岡県久留米市御井町 1635 久留米大学経済学部・文化経済学科 浅見良露研究室内 TEL：0942-43-4411/FAX：0942-43-4797

e-mail：kyushu.toshigaku@gmail.com